

・不休業事故・災害

19233F 教授(女性:58歳);コピー複合機の下に保管してある用紙を取ろうとして、無理な体勢になり腰をひねった。

19235F D1 院生(男性:25歳);ズボンの前ポケットに入れていたボールペンの破損部分に誤って触れ、指に切創を負った。

19236F 講師(男性:37歳);検体の切り出し作業中、誤って切り出し器具の刃を逆に持っしまい、右指に切創を負った。

19241F 事務・図書系職員(女性:47歳);講堂にて、隣席の椅子の背テーブルを収納した際、テーブルボックスのストッパの不具合でテーブルが勢いよく落下し、右手薬指を挟み裂傷と骨折を負った。

19242F D4 院生(男性:35歳);実験室ドアの縦枠に指をかけて室内の履き物を整理していたところ、ドアクローザーによりドアが閉まり、左手薬指が挟まれ骨折した。

19243F D3 院生(女性:27歳);空き瓶の廃棄作業中、袋から飛び出ていた割れた三角フラスコの鋭利な部分に触れてしまい、右手親指に切創を負った。

・通勤災害

19234J M1 院生(男性:23歳);帰宅途中に自転車で転倒して頭を打ち、自宅まで自力で戻ったが、その後状態が悪化し救急搬送され手術を受けた。(休業30日)

・ヒヤリハット。人的被害と物的被害なし

19229H 公用車運転中、バックで駐車しようとしたときに、不注意により後方の防護柵に衝突した。

19230H 公用車運転中、右折時に内輪差を読み誤って、後輪付近をガードレールにぶつけた。

19231H 駐車場で降車時、ドアが風にあおられ隣の車にぶつかった。

19239H 構内中庭に設置されている「手すり壁」の損傷が著しいため、非破壊検査業者に依頼し壁内部の状態を診断しようとしていた。X線発生装置のエイジングを開始し、照射を開始したところ、構内設置の放射線モニタリングポストの指示値が上昇し発報した。

・人的被害なし、設備災害のみ

19237Ns 空調設備の故障により、実験系廃棄物保管用冷蔵室の室温が49℃まで上昇し、前室の温度感知型火災報知器が発報した。

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

19238Nd ベルトを装着しようとした際、手が滑り、ベルトの金具部分が振り子のような軌道で脇の窓ガラスに当たり破損した。

・人的被害なし、設備災害でない有害物(臭)流出あり

19240Ni 液体窒素自動汲み出し装置の秤に50リットル容器を置いて汲み出しを開始したが、誤って容器容量を100リットルと入力していたため、大量の液体窒素が室内へ漏えいした。

・その他

19232S 学部学生4年(男性:22歳);研究室忘年会の二次会後、徒歩で赤信号の横断歩道を渡っていた際にタクシーに衝突され、裂傷、擦過傷、靭帯損傷、全身打撲を負った。(休業4日)